



Hello, Goodbye



外国語指導助手

サラ・ウィービーさん

せたな町のみなさん、こんにちは！おひさしぶりね。

今、私の滞在期間が終わります。8月には、アメリカのカリフォルニアに帰ります。折角の機会を利用して言いたいです。

みなさん"Sayonara"とありがとう。ほんとに、ありがとう！こちらの町は、たくさん親切な人がいます。私はここに2年間住んでいたのだから、わかります。あなたたちの町で私を受け入れてくれてありがとう。みなさんは私の無礼を許してくれました。あなたたちの町はすごい特別です！

ときどき、私は孤独な日を経験しました。でも、それらの日に、知らない人でも親切なことをしてくれました。私は寂しくなくなりました。それらの親切な行為に、どもありがとうございます。でも、その時に、わたしはありがとうを言っています。日本と日本語がわからなかったから。ごめんなさい。

でも今はありがとうをいいたいです。私が日本に来たとき、JET Programme は、私たち(JETの人)に"あなたたちは、日本の友達になるでしょう"教えました。私はそれらの提案に疑問を感じました。でも、今は信じます。わたしは日本の友達ですよ。日本と北海道とせたな町は私の楽しい思い出です。北檜山区と瀬棚区と大成区は私の心にあります。いつまでも。私は、アメリカに帰っても、この思い出を絶対に忘れません。

私は、せたな町のみなさんが、長生きで楽しい人生を送ることを心から願います。いつか、私たちはまた会えます。ありがとうございました。

平成20年度「少年の主張」檜山支庁地区大会

6月24日(火)、上ノ国町総合福祉センター(ジョイじょぐら)において、少年の主張檜山支庁地区大会が開催されました。せたな町からは3名の中学生代表が出場し、北檜山中学校3年浅沼琢透君が最優秀賞を受賞しました。

なお、北檜山中学校の浅沼琢透君は、9月5日開催の「少年の主張全道大会」に出場する予定です。

【せたな町からの出場者】

最優秀賞	北檜山中学校3年	浅沼 琢透 君	題名「愛泉寮で学んだこと」(写真右)
優秀賞	瀬棚中学校3年	千葉 紅輝 君	題名「喜怒哀楽で成長」(写真中央)
優秀賞	大成中学校3年	小林 綾香 さん	題名「命の輝き」(写真左)



プリズム

いよいよ北京オリンピックが間近となりました。何かと注視される振興大・中国での開催ということもあり、メディアの報道も一層過熱気味ですが、北海道出身選手をはじめ日本選手団の活躍が待ち望まれます。

この時期、猛暑のなかを子どもから高齢者までが集う各種スポーツ大会が各地で練り広げられています。七月一日から檜山中体連野球大会が当町で開催され、管内十一校のチームが三日間にわたり熱戦を展開し、青苗中学校が昨年に続いて優勝し、全道大会へ駒を進めました。各町から大勢の応援団も駆けつけ、生徒のプレーに一喜一憂し、大きな歓声と熱い声援を送って大会を盛り上げました。保護者をはじめ学校関係者そして小学生時代から手塩にかけて日々指導に当たってこられた野球少年団の指導者の姿も見られ、中学生という未だ幼さが抜けきれない中にも、ひたむきにプレーする子どもたちを目の当たりにし、感慨も一入のことと思いました。

生徒一人一人の競技力や集団としてのチーム力は一朝一夕に成されるものではなく、幼少時からのマナーも含めた丹念な訓練の積み重ね、保護者や地域の望ましい支援環境が大きく影響します。

各種スポーツ活動に日々取り組んでいる子どもたち一人一人が、時を重ね、様々な体験を通して培われる社会性や判断力等を磨き、心身の健全な発達を遂げ、しっかりと自己実現を図ってたくましく生きていくことの願いを強くしたひと時でした。



平成20年度ウィークエンド活動促進事業 「ウォークラリー」

6月22日（日）浮島公園内において「ウォークラリー」が行われました。

この事業は、第20回浮島公園まつりのプログラムとしても実施され、北檜山区内の児童・生徒・一般成人を合わせて約40名が参加しました。

ウォークラリーは、せたな町や浮島公園に関するクイズに答えながら、ウグイ沼周辺のおよそ1.5kmの山道を約40分間かけて歩き、参加者は心地良い汗を流しながら、自然を堪能していました。



平成20年度ウィークエンド活動促進事業 大成区民グラウンドゴルフ交流大会

6月21日、平田内小学校グラウンドで、大成区民グラウンドゴルフ交流大会が行われました。当日は晴天に恵まれ、子どもから大人まで約30名が参加しました。

コースは、グラウンド内に8ホール設置し、1ゲーム8ホールの2ゲームの合計打数によって順位を競いました。

子ども達は、大人顔負けのプレーで、最後の最後までわからない展開が続く、1打1打のサバイバルが、とても印象に残った交流大会でした。

結果は、1位 小林久子さん（一般）・2位 杉村崇斗くん（小6）・3位 西山米子さん（一般）となりました。



せたな町高齢者大学移動講座

6月11日、大成くおん大学・瀬棚寿大学合同で、函館市内の施設見学を行いました。合同で行うのは今年で2年目で、37名の学生が参加し、日本銀行函館支店・NHK函館放送局など見学しました。日本銀行では、1億円の重さや古くなった1万円札の裁断屑で作った1億円のイスなどを体験。NHKでは、画像を合成するクロマキー体験やスタジオなどを見学し、夕方お馴染みの志摩アナウンサーと運良く記念写真も撮ることができました。

7月3日には、北檜山いきがい学園が「町外視察研修（乙部・厚沢部町方面）」を実施し、57名の学園生は両町の歴史探訪やレクの森体験、札幌酒精厚沢部工場などを見学しました。



大成区女性団体連絡協議会設立50周年記念祝賀会

大成区女性団体連絡協議会が設立50周年を迎え、6月22日、国民宿舎あわび山荘にて祝賀会が行われました。

祝賀会には、会員、ご来賓、関係者合わせて62名が出席し、主催者を代表して濱口敬子会長が、「昭和33年に設立されてから50年、歴代会長さんをはじめ、多くの方々のご指導ご協力を賜り、今日まで会員仲良く活動してきた「絆」が宝です」とあいさつ。祝宴では、佐藤流三絃会による津軽三味線、会員によるカラオケや大成音頭により大変盛り上がりしました。最後に「新しい気持ちで、地域の活性化に取り組もう！」と誓い合い宴を閉じました。

